

日野川流域治水協議会規約

(設置)

第1条 「日野川流域治水協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

(目的)

第2条 本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、日野川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

(協議会の構成)

第3条 協議会は、別表1の職にある者をもって構成する。

2 協議会は、必要に応じて第1項による委員以外の者の出席を要請し、意見を聞くことができる。

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

- (1) 日野川流域で行う流域治水の全体像を共有・検討。
- (2) 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- (3) 「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ。
- (4) その他、流域治水に関して必要な事項。

(ワーキンググループ)

第5条 協議会の円滑な運営を行うため、協議会の下にワーキンググループを置く。

2 ワーキンググループは、別表2に掲げる組織の構成員をもって構成する。
3 ワーキンググループは、必要に応じて第2項による構成員以外の者の出席を要請し、意見を聞くことができる。

(会議の公開)

第6条 協議会は、原則として公開とする。ただし、審議内容によっては、協議会に諮り、非公開とすることができます。

2 ワーキンググループは、原則非公開とし、審議の結果を協議会へ報告することにより、公開とみなす。

(協議会資料等の公表)

- 第7条 協議会に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないものとする。
- 2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した構成員の確認を得た後、公表するものとする。

(雑則)

- 第8条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(事務局)

- 第9条 協議会の庶務を行うため、事務局を置く。
- 2 事務局は、鳥取県 県土整備部 河川課、国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所が務める。

(附則)

- 第10条 本規約は、令和2年7月30日から施行する。
一部改定 令和3年1月29日

別表 1

日野川流域治水協議会 委員

(委 員) 米子市長
日吉津村長
大山町長
南部町長
伯耆町長
日南町長
日野町長
江府町長
鳥取県 危機管理局長
鳥取県 県土整備部長
鳥取県 生活環境部長
農林水産省 中国四国農政局 中国土地改良調査管理事務所長
林野庁 近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署長
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター
鳥取水源林整備事務所長
国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所長

別表2

日野川流域治水協議会 ワーキンググループ

(ワーキンググループ) 鳥取県 危機管理局 危機管理政策課
 国土整備部 河川課
 技術企画課
 治山砂防課
 生活環境部 水環境保全課
 農林水産部 農地・水保全課
 森林づくり推進課
米子市 総合政策部 総合政策課
 都市整備部 建設企画課
日吉津村 総務課
 建設産業課
大山町 総務課
南部町 総務課
伯耆町 総務課
 地域整備課
日南町 総務課
日野町 総務課
 建設水道課
江府町 総務課
農林水産省 中国四国農政局 中国土地改良調査管理事務所
林野庁 近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター
 鳥取水源林整備事務所
国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

※ワーキンググループメンバーの構成は、流域治水プロジェクトを幅広く検討するためには、メニューの有無を問わないことを前提としています。